

もっと安心農産物 春菊栽培暦

JAちばみどり 千潟園芸組合蔬菜部会

1. 防除

令和6年

月/旬	作業	病害虫の発生時期	薬剤名	濃度、使用量	使用時期	備考
7~8月						○夏期太陽熱消毒又は、土壤還元消毒の実施
9月	播種		チウラム (消毒済購入種子)			○育苗ハウスは、防虫ネットを張り害虫の侵入を防ぐ。
10/中	移植	アブラムシ マメハモグリバエ ネキリムシ類 ヨトウ類 炭疽病・ベト病	ベストガード粒剤 ガードベイトA スクレアプロアブル	9kg/10a 3kg/10a 2000倍	定植時、又は収穫3日前迄のどちらか1回の使用 生育初期 収穫前日迄	
10/下			ディアナSC	2500倍~5000倍	収穫前日迄	
11/上			コサイド3000	2000倍	—	
11/中	収穫始める					
11/下						
12月						
1月						
2月						
3月						
4月						
5月						

※ 物理的防除を取り入れて農薬散布回数を減らします。

2. 土づくり

完熟堆肥を年に一回以上入れ土作りを行なう。

(入手先、原料の確認が出来る物)

3. 施肥

☆ 施肥診断にもとづく施肥量の遵守 ※2

☆ 有機質100%の肥料を使用 (化学肥料の窒素成分量栽培期間中不使用)

	肥料名	施肥量	
基肥	味好1号 ※1	260kg	
	菜種粕	100kg	
	過磷酸石灰(粒) ※3	40kg	
	けい酸加里プレミア34 ※3	40kg	
	粒状サンライム(有機石灰) ※3	40kg	
	粒状硫マグ25 ※3	40kg	
追肥	味好1号 ※1	60kg	(1回あたり)
	有機アグレット655eco	60kg	〃
	ともだち843号	60kg	〃
	ソイルサプリエキス	適時	
	カルプラス	適時	石灰欠乏対策
	鉄力トレプラス	適時	鉄欠乏・マンガン欠乏対策

※1 土壤分析結果により味好1・2・5号を使い分けて適切な施肥を行なう。

※2 土壤分析結果により前作の肥料が残っている場合は、施肥を控える。

※3 土壤分析により不足している成分を補う為に使用する。(磷酸・加里・石灰・苦土)

節減対象農薬の使用状況			
農薬名	使用資材名	用途	使用回数
(消毒済購入種子)	チウラム	殺菌	1回
スクレアプロアブル	マンデストロビン	殺菌	1回
ベストガード粒剤	ニテンピラム	殺虫	1回
ガードベイトA	ペルメトリソ	殺虫	1回
ディアナSC	スピネトラム	殺虫	1回
ダントツ水溶剤	クロチアニジン	殺虫	2回
コサイド3000	フルフェノクスロン	殺虫	1回

☆みんなで守ろう生産基準